

【地区の魅力】

地区北側の吉備史跡県立自然公園の山並みや北東側の矢坂山などの斜面緑地が背景として広がり、中央の平野部では笹ヶ瀬川と足守川が南北に流れており、地域の景観構造を形成している。地区の北側にはJR庭瀬駅、南側にはJR妹尾駅があり、2つの駅を中心に戸建住宅を中心とした市街地景観が広がり、計画的な住宅団地では良好な住環境が形成されている。庭瀬・撫川地区や、妹尾地区では城跡や歴史的街並みが残っており、かつて街道沿いであった趣や風情を感じることができる。

【地区の課題】

地域に残る歴史的資源などの価値を再認識し、地元住民が主体となって保全、活用を図っていくことが必要である。計画的な住宅市街地の良好な住環境を維持し、大規模な建築物等は周辺の景観に調和させていくことが必要である。笹ヶ瀬川、足守川沿いは、市街地のアメニティ資源として有効に活用されることが必要である。国道2号や県道岡山倉敷線等の主要な幹線道路沿道では、良好な沿道景観の形成が必要である。

【景観づくりの目標】

緑や潤いある河川・水路・幹線道路沿道を活かして市街地景観を整えるとともに、庭瀬・撫川地区、妹尾地区などでは、歴史的資源を適切に保全し、地域特性を活かした市街地の整備により良好な景観づくりを目指す。

【地区の魅力となる景観資源】



豊かな自然環境の足守川



地区計画による緑豊かな住宅地



地区を囲む矢坂山などの山並み



庭瀬・撫川の歴史的街並み



水面に映える撫川城址公園



妹尾地区の歴史的な街並み

【景観づくりの方針】

方針	具体的な方向
1. 良好な住宅地景観を形成する	計画的市街地の良好な景観を守る。
	緑豊かなゆとりのある住宅地を形成する。
	地形になじんだ住宅地を形成する。
2. 笹ヶ瀬川や足守川の水辺空間を活用する	笹ヶ瀬川や足守川のアメニティを高める。
	庭瀬・撫川や妹尾の歴史的街並みを守り、活かす。
3. 歴史的景観を保全、活用する	撫川城跡等の歴史的資源を守る。
	吉備史跡県立自然公園の斜面緑地を守る。
4. 市街地を取り囲む緑の景観を保全する	小さな丘陵地の緑地景観を守る。
	農業景観と調和した住環境を守る。
5. 農業景観を維持、保全する	農業景観と調和した住環境を守る。
6. 大規模な施設を修景する	大規模施設の形態・意匠等を誘導する。
	屋外広告物の形態・意匠をコントロールする。
7. 幹線道路（県道岡山倉敷線など）の沿道景観を修景する	緑豊かな美しい沿道景観を形成する。

図 景観づくりの方針

